



いつまでも住み続けたい村

広報

しらかわ

2024

10月号

No.639



CONTENTS

- 酒蔵誘致について P2～3
白川村教育研究所 P6
白水滝シンポジウム P7

学園体育大会・保育園運動会

9月7日に学園体育大会、9月14日に保育園運動会が行われました。学園児童生徒は赤団・白団に分かれて激しい接戦を繰り広げ、応援合戦や声援が村内に響き渡っていました。また、保育園児は青空のもと元気いっぱい走り回り、お友達との競走や親子競技を楽しんでいました。

酒蔵づくり共同プロジェクト

村では、産業や経済の活性化、移住定住促進など、白川村総合戦略の最大の目標であります「人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる」を達成するための政策の1つとして企業誘致に取り組んでいます。

現在、旧白川小学校跡地（鳩谷）に酒蔵を建設するプロジェクトについて議会や地域などと相談しながら飛騨市の有限会社渡辺酒造店と進めています。酒蔵ができることにより、農業・製造・小売までを村の中で完結させ村の中で経済を循環させる6次産業化の実現、職業選択肢の増加、新たな特産品の開発等、村の活性化の新たな起点となることを期待しております。

そのキックオフとして、10月1日（火）に白川村役場にて「白川村と渡辺酒造店の酒蔵づくり共同プロジェクト協定締結式・記者発表会」が行われました。

協定締結式・記者発表会では、建設予定の酒蔵のイメージ図やコンセプト、ロゴ等の発表に加え、地域、企業、行政が一丸となって地域創生のために協力して進んでいくことを目的として、鳩谷区、渡辺酒造店、白川村の3者による地域活性化協定の締結もされました。



建設予定酒蔵の屋号は「白川村の蔵」

蔵のコンセプトは、「これがうちの村の酒だ!」と自慢できるような、そして、村外で暮らす村の人たちが、村の景色を思い出し、想いを馳せられるような酒造り。

キーワードは 「白川村の、景色が浮かぶ酒をつくろう。」

シンボルマークは、米づくり、暮らし、人と人との繋がりを生み出す根源である、山から湧き出す美しい水をコアとして村の未来が蔵と共に、川のように前進してほしいという願いを込めて「しら川」と筆文字で書かれています。



白川村の蔵のシンボルマーク



酒蔵の完成は令和8年3月を予定しており、順調にいけば同年9月から操業が開始される予定です。引き続き議会や地域とも協議しながら進めていきます。

【白川村の蔵】概要と建設スケジュール

場 所 : 白川村鳩谷(旧白川小学校跡地)

操 業 開 始 予 定 : 令和8年9月

建設工期: 令和7年4月着工～令和8年3月完成予定

特 設 サイト URL : <https://shirakawa-kura.com/>



有限会社吉野ジープーフームが 第76回岐阜県畜産共進会にて最優秀賞を受賞しました

岐阜市食肉地方卸売市場にて8月1日(木)に行われた、第76回岐阜県畜産共進会の肉豚の部において、有限会社吉野ジープーフーム白川農場で生産された出品豚が最優秀賞となる「優等賞1席」を受賞しました。審査では吉野ジープーフームの出品豚は肉質、ボリューム、バランスに優れていることが高く評価されました。令和6年9月26日に有限会社吉野ジープーフームの吉野毅代表取締役、吉野聡子専務、吉野隆白川農場長から村長へ受賞の報告がありました。同社が本会で優等賞1席を受賞したのは初めてのことで喜びを報告されました。



これまででも安心安全な豚肉生産に向けて徹底した衛生管理を実践される中で、美味しい豚肉への研鑽を重ねてきた努力が受賞につながったと思います。白川村の特産品として益々の発展を期待しております。おめでとうございます。

岐阜県畜産共進会とは？

一般社団法人岐阜県畜産協会と全国農業協同組合連合会岐阜県本部が主催する県下畜産生産者による肉用牛と肉用豚の審査会で、岐阜県における家畜改良の成果を検証し、今後の家畜の改良、飼養技術の更なる向上のための礎とするほか、銘柄化の促進と畜産経営安定に資することを主旨として開催されています。今回の肉豚の部は7月30日から8月1日までの3日間の日程で、全肉豚38組・114頭の出品で開催され、一般社団法人日本養豚協会の肉豚審査基準により枝肉の各部位と組としての枝肉の揃いなどを審査されました。

令和5年度

白川村決算報告書

白川村9月議会において、令和5年度一般会計・特別会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

令和5年度は、「白川村第2次総合戦略」の4年目の年であり、基本目標に掲げた「人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる」が達成できるよう事業を実施しました。また、アフターコロナからの経済回復や物価高騰に対応するため、主に地域経済の活性化や消費喚起・観光対策等の事業展開を図りました。

一般会計歳入決算額は、前年比13.1%増の50億3,435万円となり、特別会計を合わせた村の歳入総額は58億4,671万円でした。一般会計の歳出決算額は前年比11.9%増の43億8,482万円となり、特別会計と合わせた村の歳出総額は50億7,934万円になりました。一般会計における実質収支額は、歳入歳出差し引き額6億4,953万円から翌年度へ繰り越すための一般財源1,694万円を差し引いた6億3,259万円となり黒字でした。

一般会計の歳入のうち、最も大きなものは「地方交付税」の14億3,775万円で、歳入全体の28.6%を占めており、次に大きなものは「寄附金」の8億4,999万円で歳入全体の16.9%、「村税」は7億5,659万円で歳入全体の15.0%であり、この三つの財源により村の歳入全体の半分以上を占めています。寄附金にはふるさと納税が含まれており、村の重要な収入源となっています。

令和5年度に実施した主な事業は前年度に続き新型コロナウイルス感染症対策事業及び物価高騰対策事業として、村内の事業所で使用出来る白川村くらし応援商品券事業を実施し経済の回復促進に繋がりました。さらに、非課税世帯を対象とした物価高騰重点支援として給付金を給付するなど村民の生活基盤を支える取組みを進めました。落ち込んだ観光客数の回復や誘客促進・消費拡大を図るため、宿泊予約キャンペーンや修学旅行を対象とした支援を実施しました。また、新たな取組みとして国が進めるインバウンド向け観光コンテンツ造成・インバウンド受入環境整備を行い、観光環境の整備を進めています。

歳入でふるさと納税の額が増えていることに関連し、返礼品や送料、ふるさと納税サイトを利用する費用も増額しています。今後さらに寄附金をいただけるよう返礼品の内容の充実やキャンペーン等の実施に取り組んでいます。

施設等の管理では、老朽化のうえ使用されていない旧平瀬診療所医師住宅や旧白川小学校校舎を解体し、計画に基づいた建物管理と土地の利活用に努めています。

交通インフラについては、安全・安心な道路交通確保のため引き続き道路や橋りょう等の補修工事や点検を進めています。

決算に係る主要な施策の成果及び財政用語の解説については、白川村ホームページに詳しく掲載していますのでご覧ください。

一般会計 歳入 総額 50億3,435万円

その他依存財源

8,027万円(1.6%)

地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、法人事業税交付金、利子割交付金、配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、環境性能割交付金

県支出金

1億2,594万円(2.5%)

県からの負担金、補助金など

国庫支出金

2億6,597万円(5.3%)

国からの負担金、補助金など

村債

1億7,350万円(3.4%)

事業を行うための借金

地方交付税

14億3,775万円(28.6%)

基準に基づき国から交付されるお金

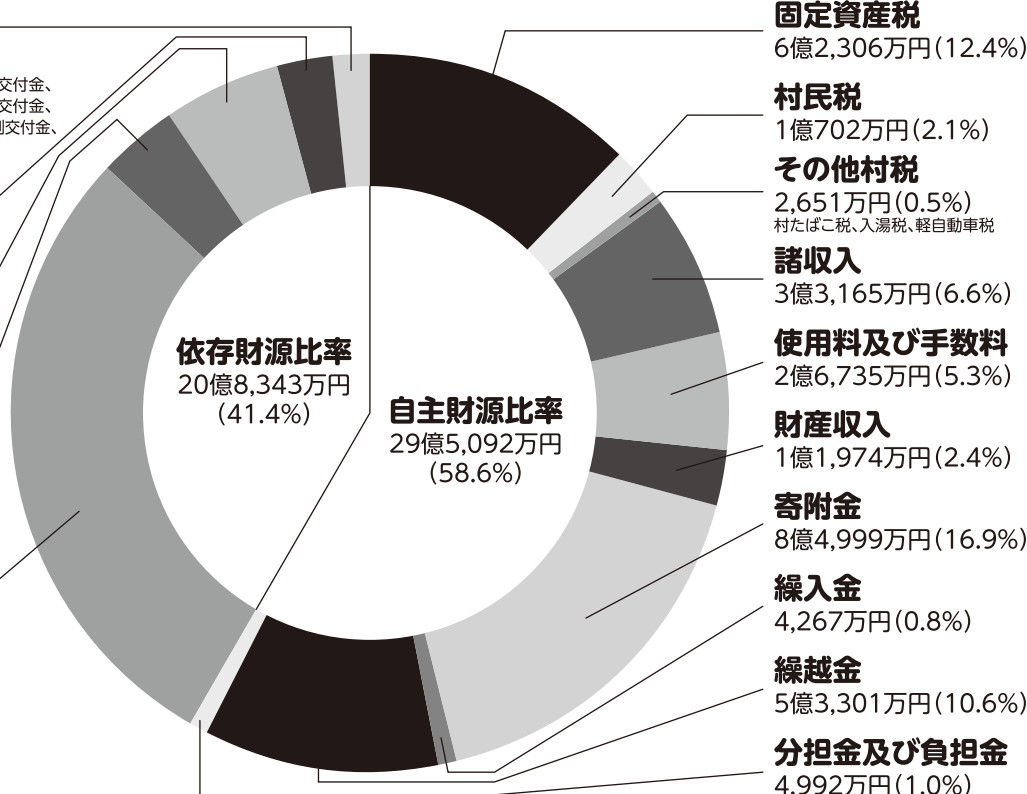
自主財源

村が自主的に収入できる財源

依存財源

国や県から交付等される財源

※%の数字は構成比です



会計別歳入歳出決算額

		歳入決算額	歳出決算額	年度末村債額
一 般 会 計		50億3,435万円	43億8,482万円	36億6,760万円
特 別 会 計	国 保（事業勘定）	2億314万円	1億7,615万円	0万円
	国 保（直診勘定）	1億2,687万円	1億1,719万円	7,264万円
	簡 易 水 道 会 計	6,518万円	4,488万円	1億1,762万円
	温 泉 開 発 会 計	4,045万円	3,963万円	0万円
	公 共 下 水 道 会 計	1億1,939万円	1億283万円	2億8,034万円
	介護保険(サービス勘定)	356万円	34万円	0万円
	介護保険(事業勘定)	2億1,841万円	1億8,000万円	0万円
	後 期 高 齢 者 医 療	3,536万円	3,350万円	0万円
特 別 会 計 合 計		8億1,236万円	6億9,452万円	4億7,060万円
全 会 計 合 計		58億4,671万円	50億7,934万円	41億3,820万円

村民1人あたりの全会計金額 ※令和5年3月31日現在の人口1,475人で算出しています。

	現 額	人 口	一人当たり	前年比	前年実績
支 出 額	50億7,934万円	1475人	344万円	36万円	308万円
基 金	59億7,476万円	1475人	405万円	56万円	349万円
地 方 債	41億3,820万円	1475人	281万円	▲15万円	296万円

一般会計 歳出 総額 43億8,482万円

災害復旧費

2万円(0.0%)
災害復旧に関する経費

公債費

3億9,687万円(9.0%)
借金の返済にあてる経費

教育費

3億6,910万円(8.4%)
学校教育・文化財などに関する経費

消防費

1億8,760万円(4.3%)
消防・防災に関する経費

土木費

4億5,968万円(10.5%)
道路建設など土木事業に関する経費

経常収支比率：64.2

自治体が人件費や生活保護費、借金の返済など避けられない経費に村税や地方交付税などの特定の収入に対してどれだけ充てられているかを示す指標です。率が低ければ財政的に余裕があり、独自の政策のための経費により多くのお金を投じることが可能となります。

※%の数字は構成比です
【お問合わせ先】財政課 TEL 6-1311

議会費

3,278万円(0.7%)
議会報酬・議会運営に関する経費

総務費

12億6,713万円(28.9%)
選挙・財政など村政全般に関する経費

民生費

2億8,507万円(6.5%)
社会福祉に関する経費

衛生費

1億6,482万円(3.8%)
保健・環境衛生などに関する経費

農林水産業費

2億4,066万円(5.5%)
農業・林業振興に関する経費

商工費

9億8,109万円(22.4%)
商工業・観光業に関する経費

財政力指数：0.316

自治体の財政の豊かさを表す指標です。基準値を1として、1に近いほど財政状況が良い(豊かである)といえる数値です。